

10月1日から七ヶ宿白石線

町営バス運行へ

平成22年第2回定例会は、6月8日から10日までの3日間の会期で開かれました。白石市まで町営バス路線を追加する条例5件、補正予算3件、その他4件は、それぞれ慎重に審議した結果、原案のとおり可決されました。議員から提出された意見書1件も可決しました。一般質問は、7人の議員が10項目について町長の考えをたどりました。

財政健全化へ大規模支援 森林組合事業貸付条例の制定

●提案理由
森林組合の健全な経営を維持し、公益的機能の増進を図るため

◆主な内容
第2条 組合に対し事業資金の貸し付けを行うことにより、組合の健全な経営を維持し、森林整備等の公益的機能の維持増進を図り、併せて林業の活性化及び地域経済の振興を目的とする。
2 貸付金の名称は、七ヶ宿町森林組合事業資金「以下「貸付金」という。」とし、予算の範囲内で貸し付けるものとする。
3 貸し付けの対象となる経費は、次のとおりとする。
(1) 組合の借入金の返済

3 前項の場合において、理事の交代があったときは、退任した理事に代え、就任した理事を連帯保証人とするものとする。この場合においては、借入書を書き換えるものとする。
●答弁 産業振興課長
2年を据置、8年を償還期間とし、合わせて10年間となる。また、金融機関と協議するため、無利子としている。
□質疑 吉野一夫議員
無利子は問題ないのか。
●答弁 産業振興課長
問題ない。
□質疑 菅原研治議員
他の貸付より優遇であり、不公平にならないか。
●答弁 産業振興課長
特例措置としている。
□質疑 武蔵重幸議員
連帯保証人となる理事者とは。
●答弁 産業振興課長
第7条に規定する連帯保証人は、現在の5名の

理事、その後補充し7名の理事となる。
□質疑 佐藤一男議員
県の救済制度や中小企業等円滑法を活用しないのか。
●答弁 産業振興課長
代位弁済、返済猶予もあるため、活用できない。
□質疑 村上満議員
税等の未納者も多い。今、公平な立場で貸付しないのか。
●答弁 町長
未納問題とは別と受け止めている。
反対
□佐藤一男議員
無利子貸付は、認め難く、国の支援制度、環境事業の活用ができるため。
□村上満議員
町内全体を見据えた制度でないため。

賛成
●吉野一夫議員
1日も早い経営正常化のため。
反対
●武蔵重幸議員
組合への救済策であるため。
賛成6 反対3で可決
町営バス条例の改正
●提案理由
七ヶ宿白石線を開設するため
□質疑 村上満議員
10月からの運行形態は。
●答弁 総務課長
運転契約を変更し、町営バスとして運行する。
□質疑 菅原研治議員
民間バスと連携できないのか。
●答弁 総務課長
民間バスは既に陸運局へ廃止を届けているのでできない。
全員賛成で可決

一般会計補正予算

◆主な内容
歳入(財源)
固定資産税

314万円
振興基金から繰入
5900万円
森林整備加速化・林業再生事業補助金
224万円
緊急雇用対策事業補助金
441万円
歳出(使いみち)
長老地区名変更業務
441万円
役場前駐車場舗装工事
223万円
口蹄疫防除用品
19万円
森林病害虫防除業務
224万円
森林組合貸付金
6000万円

質疑

□質疑 森雄一議員
ナラ枯れ155本の処理体制はどのように行っているのか。また今後の計画は。
●答弁 産業振興課長
根元から伐採し、薬剤注入、燻蒸、ナイロンで覆う。枝は処理しなくても問題がない。今後、ナラ枯れが10倍増と見込まれるので、調査、発見し、処理していきたい。
□質疑 菅原研治議員
森林組合の理事が足りない状態など問題がある中、貸付金を提案した根拠は。
●答弁 総務課長
条例と表裏一体の考えで計上している。
□質疑 佐藤一男議員
庁舎備品のテーブル、イスの仕様は。また、振興策のひとつとして、木工加工センターに製作を頼めないのか。

特別会計補正予算 町営バス

◆主な内容
歳入(財源)
使用料

172万円
繰入金
500万円
歳出(使いみち)
燃料費
128万円
委託料
535万円
□質疑 菅原研治議員
委託料の根拠は。
●答弁 総務課長
七ヶ宿白石線で10月から3月末までの走行距離、人件費を積み上げている。

討論

反対
□佐藤一男議員
森林組合に対し、国の支援制度、環境事業の活用ができるため。

各会計補正予算の状況

会計名	補正額	累計額	審議結果
一般会計	7000万円	19億4000万円	賛成6 反対3で可決
国民健康保険(事業勘定分)	126万円	2億126万円	全員賛成で可決
町営バス	672万円	2906万円	賛成8 反対1で可決